

国語 農学部、医学部（保健学科）

□ 現代文

問一 a リユウチョウ b シヤシヨウ c 眺 d ハバ e 発揮 f 緻細 g 配慮 h シツヨウ

問二 (1) エ

(2) エリスにとく あるのだ。

問三 吃音を単に障害として捉えるのではなく、人種、ジェンダー、階級など複数の視点を組み合わせる「交差性」の考え方に立つことで、その障害が自分にとって持つ意味の複雑さを探究することが可能になり、その意味が豊かになるということ。(一〇九字)

問四 彼らは社会くのである。

問五 ウ

問六 (1) 自らの弱さをアイデンティティとして掲げ、権利を主張するばかりで、自らの弱さに向き合わず、豊かな生の意味を生み出すことにつながらないもの。(六八字)

(2) 自分を、自分のことがよく分からないという弱さを備えた存在として認め、経験の複雑さに向き合うことで、自身の生に多様な意味を見出すもの。(六六字)

問七 第二段落…障害とのこ

第三段落…近年、以前